

## ヒメタイコウチの死体を小野市<sup>きびた</sup>黍田町にて拾う

高橋 寿郎

ヒメタイコウチ *Nepa hoffmanni* Esaki は兵庫県下では西宮市、三田市、明石市、小野市に記録があり小野市青野ヶ原が現在日本での分布の西限となっている（西、1988）。

1991年4月11日小野市<sup>うた</sup>黍田町（加古川のそば）にあるレストランの前庭駐車場にて押しつぶされたヒメタイコウチの死体を拾った。頭部は無く、肢も全部揃っていないかった。帰宅して田中 稔氏に頂いた西宮市産のヒメタイコウチ標本と比べて間違い無いことがわかった。死体はヒメタイコウチについて詳しくまとめられた伴 幸成、柴田重昭、石川雅宏氏著“ヒメタイコウチ”（文一総合出版、1988）によって（p.64）♂であることがわかった。青野ヶ原より若干東にあたる地点であるから特にとどうと云うことはないと思はれるが恐らく小野市内の他の地域でも調べたら本種の生息が確認される所があるのではないだろうかと思はれる。

追記. 1991年6月16日夜三木市の小倉 滋氏から電話を頂いた。色々新しいニュース、記録を教えてくださいましたがその中でヒメタイコウチも三木市内数ヶ所で生息が確認されているがいずれも環境破壊が近づいており絶滅するのではないかと心配であるとのことであった。

## 三木市美囊川畔のヒゲコガネ

（ 兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 5 9 ）

高橋 寿郎

三木市の美囊川畔で6月末から8月始めにかけて日没と同時に多数のヒゲコガネ *Polyphylla* (*Gynexophylla*) *laticollis* Lewis, 1887（主として♂）が飛ぶ素晴らしい光景に就いて既に本誌上に発表させて頂いている（Vol.8, No.2, 1980）。早いものでその頃からすれば10数年経過しておりその後どの様な状況になっているのかわからないのでよくわからないまま現在にいたっている。最近永